

第2回 港湾施設の維持管理等に関する検討会 議事概要

日時： 平成24年12月3日（月） 10：30～12：30

場所： 中央合同庁舎2号館低層棟1階 共用会議室1

○事務局より、①第1回検討会における指摘事項とその対応、②港湾施設の今後の更新・修繕費用の推計方法（試行版）、③港湾施設の計画的な更新・修繕、④維持管理等に関する技術開発の要望等について説明し、委員による意見交換を行った。

○各委員からは下記のような意見があった。

- ・更新・修繕費用の推計方法については、ある程度割り切りが必要。基本的な方向は良いが、詳細については詰めていくべき。
- ・今回の推計は、今ある港湾施設をこのまま使い続けるとどの程度の費用がかかるかを検討しているもの。サービス水準をどの程度に保つか等の議論も踏まえ、今後、推計方法を進化させながら検討を継続すべき。
- ・港湾施設の計画的な更新・修繕に際して、港湾施設のサービス水準を施設ごとに決めていくという議論は極めて大事。資料では、施設区分のくくり方が粗いほか、検討に際しての考慮事項も不足していると思われるので、橋梁等他事業の考え方も参考に、しっかりとしたフローチャートを作って検討すべき。また、企業会計・管理会計の考え方の導入についても検討すべき。
- ・点検に関する技術開発の要望が多数あるが、施設のサービス水準を決めていくのであれば、サービス水準に応じた点検のあり方も検討すべき。
- ・港湾構造物の維持管理に関して、海外でも維持管理マニュアルなどがあるのか、調べておいた方がよい。
- ・台帳の整理は極めて重要。海外でも台帳の標準化に力を入れており、海外へのビジネス展開にも活用できることを理解した上で整理すべき。

○次回以降、いただいた御意見を踏まえ、議論を深めていくこととなった。